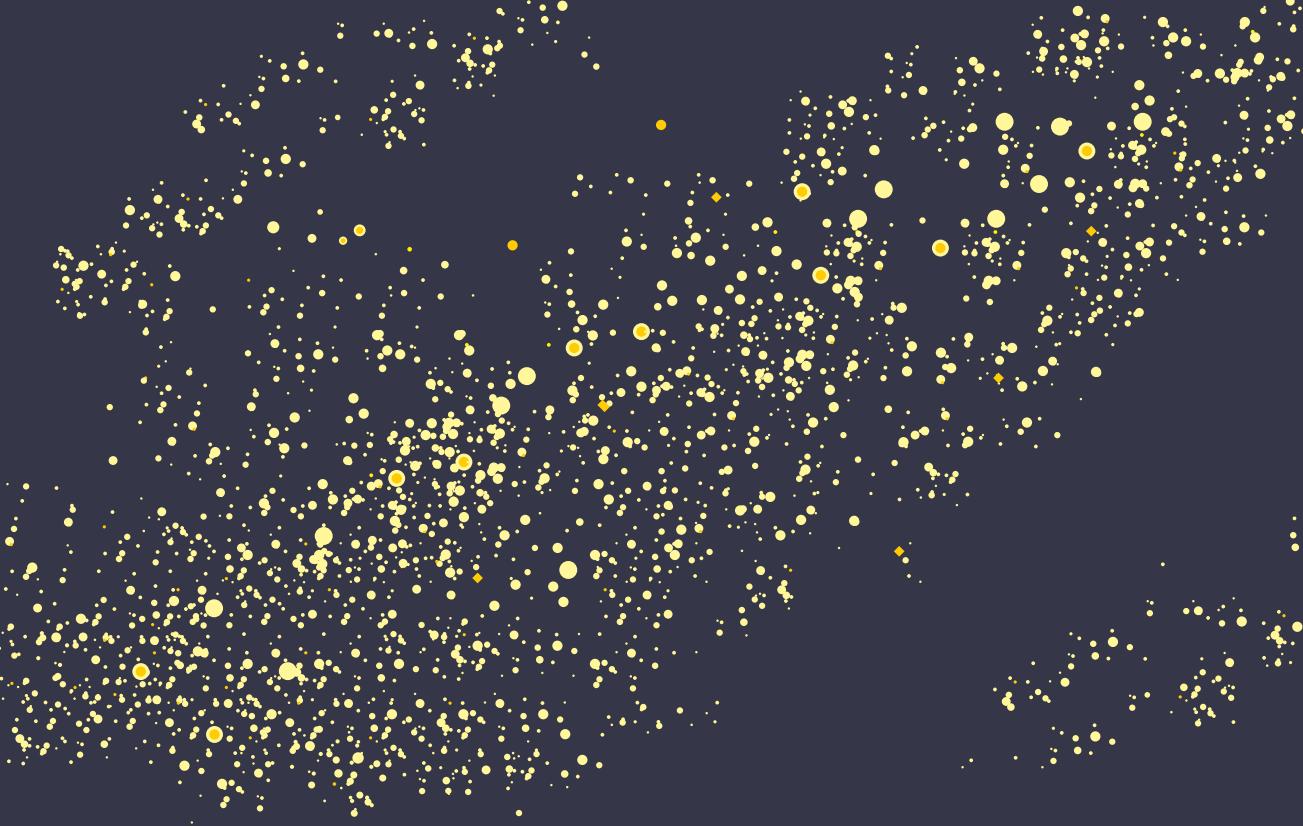




ネコはおなかがすいていました

ここは小笠原、母島

ネコは遠い日のことを思い出していました



遊びあきると
母ネコの
胸にすがって
あっぱいを
飲んだこと



母ネコの舌が
気持ちよかったです



一家は人間の家の庭先で暮らし
母ネコは人間から餌をもらっていたこと



ある日目覚めると
ひとりぼっち
森の中に
捨てられていたこと



ネコは食べ物を探して歩き続けました



崖のそばにたどり着いた時
黒い大きな鳥が
右に左に揺れているのが見えました